

県民音楽のひろば・第48回県民芸術祭参加事業

群馬交響楽団

クラシック・スペシャル

コバケンの「わが祖国」

スメタナ
生誕200周年記念
コバケンマエストロの
解説つきコンサート

9/14
2024
土

Silk Card シルクカード
対象事業

シルクホール
15:00開演 (14:30開場)

全席指定 3,500円 (会員 3,200円)
高校生以下 500円
※未就学児の入場は、ご遠慮ください。

指揮・おはなし
小林 研一郎
Kenichiro Kobayashi
(群響桂冠指揮者)

プログラム

スメタナ / 連作交響詩《わが祖国》から

- I | ヴィシェフラド (高い城)
- II | ヴルタヴァ (モルダウ)
- III | シャールカ

※プログラム・曲順は予告なく変更する場合があります。

主催：桐生市 / 群馬県 / (公財) 群馬県教育文化事業団 /
桐生市教育委員会 / (公財) 桐生市スポーツ文化事業団

助成：(一財) 地域創造

後援：群馬県教育委員会 /
第48回県民芸術祭運営委員会

お誘いあわせ
得得 / キャンペーン

前売りのみ 先着200組様限定

2枚 一緒に購入すると…… 1枚 3,250円 (会員 2,950円)

3枚 以上一緒に購入すると…… 1枚 3,000円 (会員 2,700円)

※1回の購入でまとめてご購入の場合に限りです。(追加購入の場合は適用になりません。)
※会館窓口での購入に限ります。会館以外のプレイガイドでは割引はありません。



管弦楽 群馬交響楽団
Gunma Symphony Orchestra

オンラインチケットはコチラ →



美喜仁桐生文化会館 営業時間 9:00~22:00 (火曜休館)
(桐生市市民文化会館)

チケット
専用電話

0277-22-9999

〒376-0024 桐生市織姫町2-5 TEL (0277) 40-1500 FAX (0277) 46-1126 <http://www.kiryu-piif.jp/>

群馬交響楽団

クラシック・スペシャル

Gunma Symphony Orchestra Classic Special

“炎のマエストロ”コバケン

小林研一郎

Kenichiro Kobayashi

コンサートへの誘い

今年の県民音楽のひろばは、指揮者に群響桂冠指揮者の小林研一郎氏をお迎えする。今回のプログラムの「わが祖国」は、彼の十八番であり、世界的な音楽祭である「プラハの春国際音楽祭」のオープニングコンサートにおいて、音楽祭史上でスメタナ作曲の連作交響詩「わが祖国」全曲の指揮を任された唯一の東洋人指揮者でもある。今回は、抜粋ではありますが、トーク付きとなっており、“炎のマエストロ”コバケンワールドを存分に堪能できるプログラムです。この機会にぜひお楽しみください。

小林研一郎 Kenichiro Kobayashi (群響桂冠指揮者)

“炎のコバケン”の愛称で親しまれる日本を代表する指揮者。東京藝術大学作曲科及び指揮科の両科を卒業。1974年 第1回ブタペスト国際指揮者コンクール第1位、特別賞を受賞。2002年プラハの春音楽祭では東洋人初のオープニング「わが祖国」を指揮して万来の拍手を浴びた。これまでにハンガリー国立フィル、チェコ・フィル、アーネム・フィル、ロイヤル・コンサートヘボウ管、フランス国立放送フィル、ローマ・サンタ・チェチーリア国立管、ロンドン・フィル、ハンガリー放送響、N響、読響、日本フィル、都響等の名立たるオーケストラと共演を重ね、数多くのポジションを歴任。ハンガリー政府よりハンガリー国大十字功労勲章(同国で最高位)等、国内では旭日中綬章、文化庁長官表彰、恩賜賞・日本芸術院賞等を受賞。作曲家としても数多くの作品を書き、1999年に日本・オランダ交流400年記念の委嘱作品、管弦楽曲『パッサカリア』を作曲、ネーデルランド・フィルハーモニー管弦楽団によって初演されると、聴衆から熱狂的な喝采を以て迎えられた。同作品はそれ以降も様々な機会に、アシュケナージ指揮N響、小林研一郎指揮日本フィル等で再演されている。社会貢献を目的とした「コバケンとその仲間たちオーケストラ」では活動趣旨に賛同するプロ、アマチュア、学生等 障がい者を含む演奏家たちと全国でチャリティ公演も行っている。CD、DVDはオクタヴィア・レコードより多数リリース。著書に『指揮者のひとりごと』(騎虎書房/日本図書協会選定図書)等がある。

現在、日本フィル桂冠名誉指揮者、ハンガリー国立フィル・名古屋フィル・群響桂冠指揮者、読売日響特別客演指揮者、九響名誉客演指揮者、東京藝術大学・東京音楽大学・リスト音楽院名誉教授、東京都豊島区音楽監督、ローム ミュージック ファンデーション評議員等を務める。

©山本倫子



群馬交響楽団 Gunma Symphony Orchestra

1945年戦後の荒廃の中で文化を通じた復興を目指して創立、1955年「群響」をモデルに制作された映画「ここに泉あり」が公開され、全国的に注目を集めた。1947年から始めた移動音楽教室は、2023年度までに延べ650万人を超える児童・生徒が鑑賞した。1994年に「プラハの春国際音楽祭」、「ウィーン芸術週間」から同時に招待を受け4カ国を巡る海外公演を実現。

群馬交響楽団は、定期演奏会、移動音楽教室をはじめ幅広い音楽活動を展開し、群馬県の文化の象徴として県民から幅広く支持されている。また2019年9月開館の「高崎芸術劇場」に活動拠点を移し、飯森範親常任指揮者のもと、さらなる演奏活動の飛躍・向上を目指し、定期演奏会は2024年7月に第600回に達し、2025年に創立80周年を迎える。



●託児サービスあります。(未就学のお子様は、ご入場できません。) ●チケット郵送サービスあります。(郵送料500円+郵便振替料金ががかかります。)
※未就学児のお子様ひとりにつき300円(保険料を含む。) 事前申込要(8月30日申込締切)